

「JAPAN 国際コンテンツフェスティバルにおける国際人材育成事業及び国際人材交流事業」

塚本晋也監督による「自主でできる音創りの可能性に挑戦する」ワークショップ

2010年2月12日

ぴあ株式会社 PFF 事務局

- 日程** 2010年2月26日（金）・27日（土）
- 会場** T's 渋谷フラッグ（渋谷区宇田川町33番6号 Shibuya Flag 7F）
- 主催** ぴあ株式会社
- 共催** NPO 法人映像産業振興機構（VIPO）
- 講師** 塚本晋也監督＋海獣シアター 川原伸一プロデューサー
- ※27日はゲストとして、石井岳龍（聰互）監督を迎える。
- ※各人のプロフィールは2・3ページ目を参照
- ※募集は終了しております。

講義内容・当日スケジュール

【2月26日（金）】

13:30 受付開始

14:00 講座開始

現在完成作業中の『鉄男 THE BULLET MAN』の音素材を具体的な教材にしての講座。  
塚本監督が映画に欲しい音を、どう具体化していくのか、を川原プロデューサーと塚本監督とのやりとりを通して、実際に音素材の変化を見せながら、音作りをみせていく、実技をあわせた音の講座。自主で可能な機材で出来ることを展開し、随時受講者の質問も受け、参加者が実際に体験できる場所となる予定。

17:30 終了予定

【2月27日（土）】

13:30 受付開始

14:00 講座開始

26日の体験を元に、受講者各人の作品制作上の悩みを質疑応答で受けていく日とする予定。  
実際の音素材を持ち込んでの相談も出来る体制にする予定。

16:00～ 特別対談：石井岳龍(聰互) 監督を迎えて～音創りの深い森に迷うとき～

塚本監督が、自身のアイドルでもある石井監督に、長く映画づくりについて聞いてみたかった数々のことを伺う。大学の教授としてこの4年間全くの初心者を教えてきた石井監督が、自身の映画製作と、学生の映画製作の音づくりの違いなども具体的に提示し、これからの映画の音構築についての指針のみえる時間になる。受講者からの質問も受け、映画についてより理解の深まる時間となる予定。

18:00 終了予定

## 塚本 晋也

Shinya Tsukamoto

1960年1月1日 東京・渋谷生まれ。

TV番組「ウルトラQ」と江戸川乱歩作品に心酔した幼少期を経て、14歳で初めて8ミリカメラを手にする。

日本大学芸術学部美術学科在学中は自ら劇団を主宰。同校卒業後、CF制作会社勤務を経て、85年“海獣シター”を結成。89年、肉体が金属に侵食されるサラリーマンの恐怖を描いたサイバーパンクムービー『鉄男』を発表し、ローマ国際ファンタスティック映画祭グランプリを受賞。続く92年『鉄男Ⅱ / BODY HAMMER』は、世界40以上の映画祭へと招待され、昨今の日本映画の海外映画祭出品の礎を築く。その後もコンスタントに作品を発表し、02年『六月の蛇』ではベネチア国際映画祭審査員特別大賞受賞。製作・監督・脚本・撮影・照明・編集・美術・出演と制作に関わるほとんどの作業に関与するスタイルから生まれる独自の映像表現は、世界の映画人をも魅了している。

現在は最新作『鉄男 THE BULLET MAN』の公開を5月に控えている。

## 監督作品

1987	『電柱小僧の冒険』 PFF アワード 1988 グランプリ
1989	『鉄男』 ローマ国際ファンタスティック映画祭グランプリほか
1991	『ヒルコ / 妖怪ハンター』
1993	『鉄男Ⅱ / BODY HAMMER』 タオルミナ国際映画祭審査員特別賞、第7回高崎映画祭若手監督グランプリ ほか
1995	『東京フィスト』 フィルム・フェスティバル・イン・東京グランプリほか
1999	『バレット・バレエ』
1999	『双生児-GEMINI-』
2003	『六月の蛇』 第60回ヴェネツィア国際映画祭コントロコレンテ部門審査員特別賞受賞
2004	『ヴィタール』 第61回ヴェネツィア国際映画祭招待作品 第37回シッチェス・カタロニア国際映画祭 Fantastic Noves Visions 部門作品賞 フリュッセル国際映画祭銀鴉賞受賞
2006	『HAZE』
2007	『悪夢探偵』
2008	『悪夢探偵2』
2010	『鉄男 THE BULLET MAN』 第66回ヴェネツィア国際映画祭コンペティション部門参加

石井 岳龍(聰互)

Gakuryu(Sogo) Ishii

1957年福岡県出身。  
 1976年日本大学芸術学部入学直後、8mm映画デビュー作『高校大パニック』を撮り、熱狂的な支持層を得る。  
 大学卒業制作の80年『狂い咲きサンダーロード』でジャパニーズ・ニューウェイブの急先鋒となる。  
 カルト作82年『爆裂都市 Burst City』の後、84年の『逆噴射家族』は海外でも高い評価を受ける。  
 その後はジャパニーズ・バンク・ニューウェーブシーンと共闘した数々の音楽ビデオや実験的短編映画製作に打ち込み、94年の『エンジェル・ダスト』で再び長編映画製作にカムバック。  
 『水の中の八月』(95)、『ユメノ銀河』、21世紀に入ってからには新型時代劇大作『五条霊戦記』(00)、ジャンルの超越を計ったハイパーな前衛的娯『ELECTRIC DRAGON 80000V』(01)、『DEAD END RUN』(02)ののち、『鏡心(完全版)』(05)では製作・撮影を兼ねたデジタルベースの個人映画で全国上映ツアー。  
 06年より神戸芸術工科大学で映画創作の実習授業を始める。  
 2010年1月17日、公式ブログで、今後は石井岳龍の名前ですべての活動、仕事を行うと発表。

監督作品

1976	『高校大パニック』
1977	『1/880000の孤独』
1978	『突撃！博多愚連隊』 第2回自主製作映画展 一般公募部門 入選作品
1978	『高校大パニック』※1976年の同名自主映画を澤田幸弘との共同監督で商業リメイク
1979	『神の落ちてきた日』 ※アクション監督
1980	『狂い咲きサンダーロード』
1981	『SHUFFLE』
1982	『爆裂都市／BURST CITY』
1983	『アジアの逆襲』
1984	『逆噴射家族／CRAZY FAMILY』 第8回サルソ映画祭グランプリ
1985	『半分人間』
1989	『THE MASTER OF SHIATSU 指圧王者』
1993	『TOKYO BLOOD』
1994	『エンジェル・ダスト』 バーミンガム映画祭グランプリ
1995	『水の中の八月』
1997	『ユメノ銀河／Labyrinth of dreams』 オスロ映画祭グランプリ
2000	『五条霊戦記 GOJOE』
2001	『ELECTRIC DRAGON 80000V』
2002	『DEAD END RUN』
2002	私立探偵 濱マイク 第8話「時よとまれ、君は美しい」(日本テレビ系) ※テレビドラマ
2005	『鏡心・3D サウンド完全版』